

広野

Obihiro City Hirono Elementary School

学校だより NO. 6
令和4年 6月10日
帯広市立広野小学校
文責 校長 新川 和範

運動会へのご理解、ご協力、ご参観ありがとうございました

5月28日(土)に開催いたしました、令和4年度 第37回八千代中学校・広野小学校合同運動会におきましては、ご理解、ご協力、ご参観ありがとうございました。



今年度も、新型コロナウイルス感染症対策により、小中合同種目を行わない、児童生徒同士の間隔を大きくとる、移動時の動線の対策など、多くの制約がありましたが、小中学校全教職員でできることを考え、創意工夫のもと小中合同で開催出来ましたこと、大変有り難く思っておりますし、保護者や学校に関係する皆様に、児童が一生懸命に取り組む姿をご覧いただけたことや、「児童と生徒とが互いの成長を見合うことによって、何かを感じ取り、認め合う間柄であってほしい」という八広の皆様の想いを少しでも実現できたことが、何よりも良かったと感じております。

当日の朝、9時開催に向けて、小学校で健康観察を行った後、8時30分に小学校を出発し、中学校グラウンドへ移動しました。運動会特別時間割の中で、疲れが溜まってきていたとは思いますが、一人一人の顔を見ると、がんばろうという気持ちが表れていました。

はじめに、各学年の徒競走をご覧いただきました。1, 2年生は60mを、3, 4年生は80mを、5, 6年生は100mを走りました。中学校のグラウンドということもあり、ゴールがとても遠くに感じた児童もいたようですが、保護者の皆様の声援を受け、全員が昨年までの自分を乗り越えるような気持ちで、一生懸命に最後まで走っていました。



次に、よさこいソーランをご覧いただきました。今年度のよさこいソーランは、もともと縦割り班活動を意識した隊列や移動を考えていたのですが、十勝の感染状況を踏まえた帯広市の方針を受け、学級ごとの隊列に変更し、移動時も学級同士が交わらないようにするなどの変更を行いました。結果として、より動きの多い素晴らしい発表を行うことができたと感じております。また、本校の良さである、上級生が下級生の演技指導や準備を手伝うといった伝統は、当日だけでなく、練習時から随所に見られました。さらに、本番当日は、演技で高学年が全員を引っ張っていく姿に頼もしさを感じました。



その次の大玉ころがしでは、一致団結して取り組む姿が見られました。前日までの色別練習では、6年生が積極的にアドバイスをし、下級生はそのアドバイスを素直に聞いて取り組む姿が大変印象的でした。今年度もマスクをはずしている場面では、声を出して応援を行うことができませんでしたが、一生懸命に拍手して応援する姿に、縦割り班で培ってきた団結する力など、児童の育ちを感じました。



さらにその次の全校リレーでも、教職員に指示されなくても、入場から競技、退場まで自分たちで行うといった意識で取り組んでいました。最終的には、差がついた結果となりましたが、どちらのチームの児童も力を出し切ったという、良い顔をしていました。



感染症対策のため、閉会式は行わず、児童会長の合歓垣依吹さんによる閉会の言葉のみとさせていただきます。緊張していたかと思いますが、小中学校を代表し大変立派に挨拶をしていました。

前日までの降雨や、当日も気温も上がらない中での開催となり、保護者の皆様にも大変ご心配をおかけしましたが、児童の成長を感じ取ることができた、大変素晴らしい運動会となりました。

今年度、新型コロナウイルス感染症対策や、以前から課題となっていた教育活動としての運動会の在り方など、様々な課題の中での合同運動会となりましたことから、新しい運動会を創り上げるという決意のもと、課題をクリアしつつ、かつ、よりよい在り方を模索しつつ、取り組んでまいりました。

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、様々なご意見やご感想があらうかと思っております。次年度に向けて、改善を重ねてまいりたいと考えておりますので、今回小学校の保護者の皆様をお願いしております17日〆切のアンケートや、後日行われます会議等の場で、皆様の願いをお伺いしながら、より良い教育活動を目指し進んでまいりたいと思っておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。今回も、ご理解、ご協力、ご参観、本当にありがとうございました。